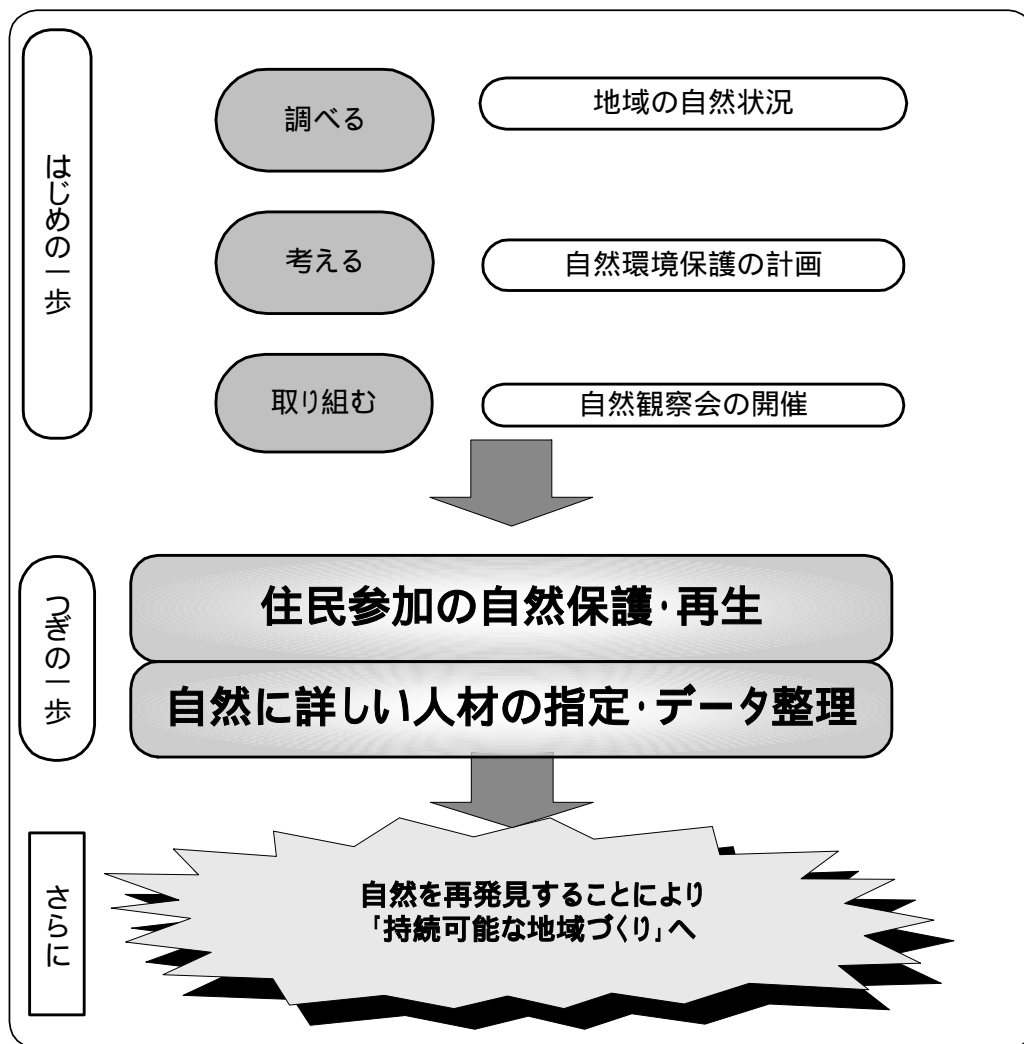


7. 生物多様性・自然に関する「持続可能な地域づくり」
地域の自然の再発見からはじまる自然と共生する地域づくり

あなたの地域の自然の状況について考えてみましょう。
普段何気なく見ている森や林、川や池、生き物などは、大切な地域の財産です。
ここでは、身近な地域の自然を見直すことから始まり、地域の特徴を活かした産業の振興を目指す自然と共生した地域づくりについて考えてみましょう。





参考事例

兵庫県神戸市（事例集）

持続的農業・農村地域を目指し、独自の条例により農業生産地域と住宅地域を区分するなどの活動を進めています。

滋賀県守山市（事例集²¹）

かつて生息していたゲンジボタルを再生するために、住民・行政が協力して取り組む事例。市は、ほたる条例を制定しています。

屋久島（鹿児島県）（事例集²²）

世界遺産に登録されるなど地域の自然の貴重さが認められ、エコツアーを中心とした自然と産業の共生に取り組む事例です。

白神山地（青森県、秋田県）（事例集²³）

世界遺産にも登録され、世界有数のブナ林を保護するため各種取組を行い、管理計画の策定やフォーラムの開催などの活動を推進しています。

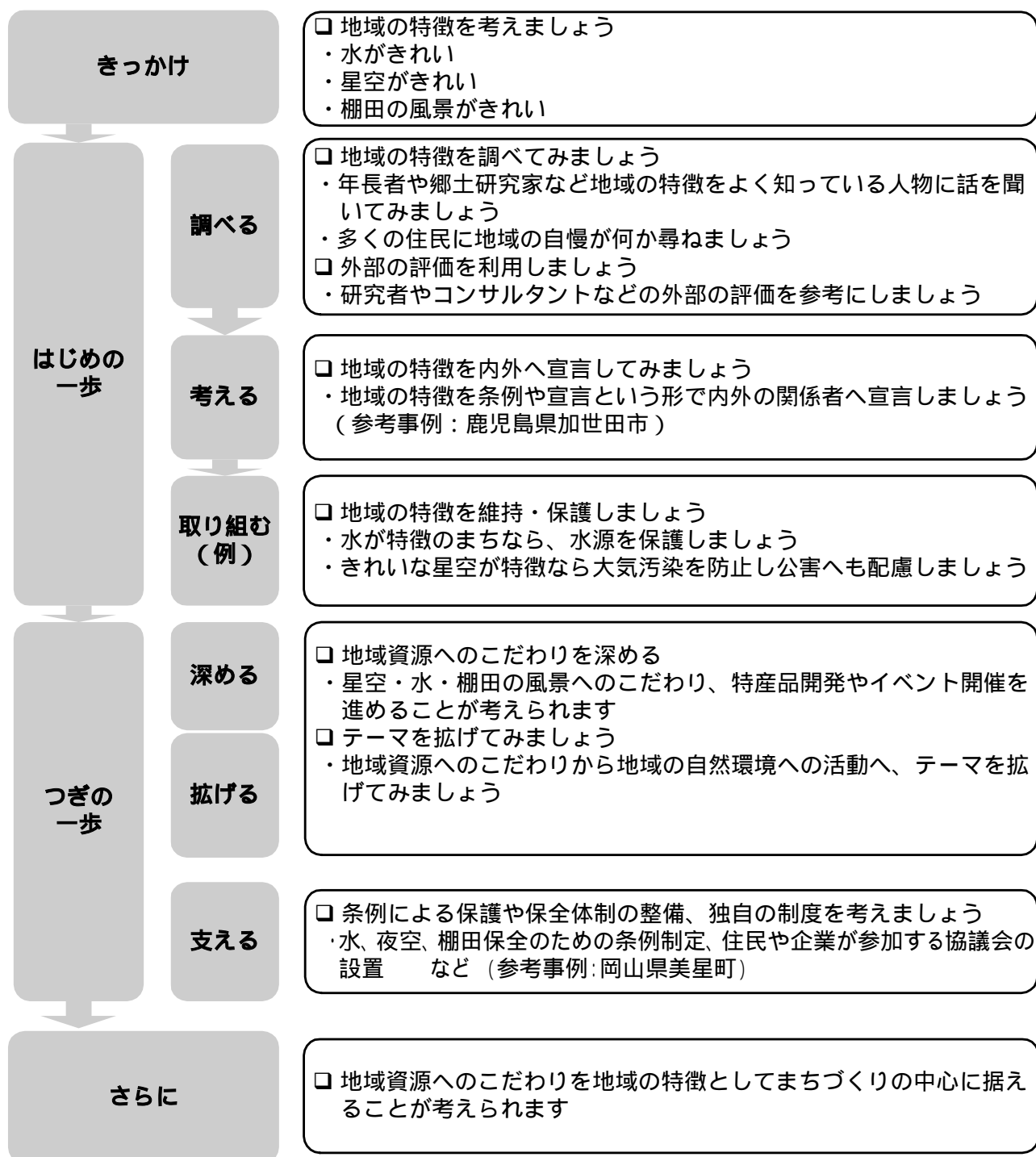
三重県（<http://www.mate.pref.mie.jp/meister/katudou.htm>）

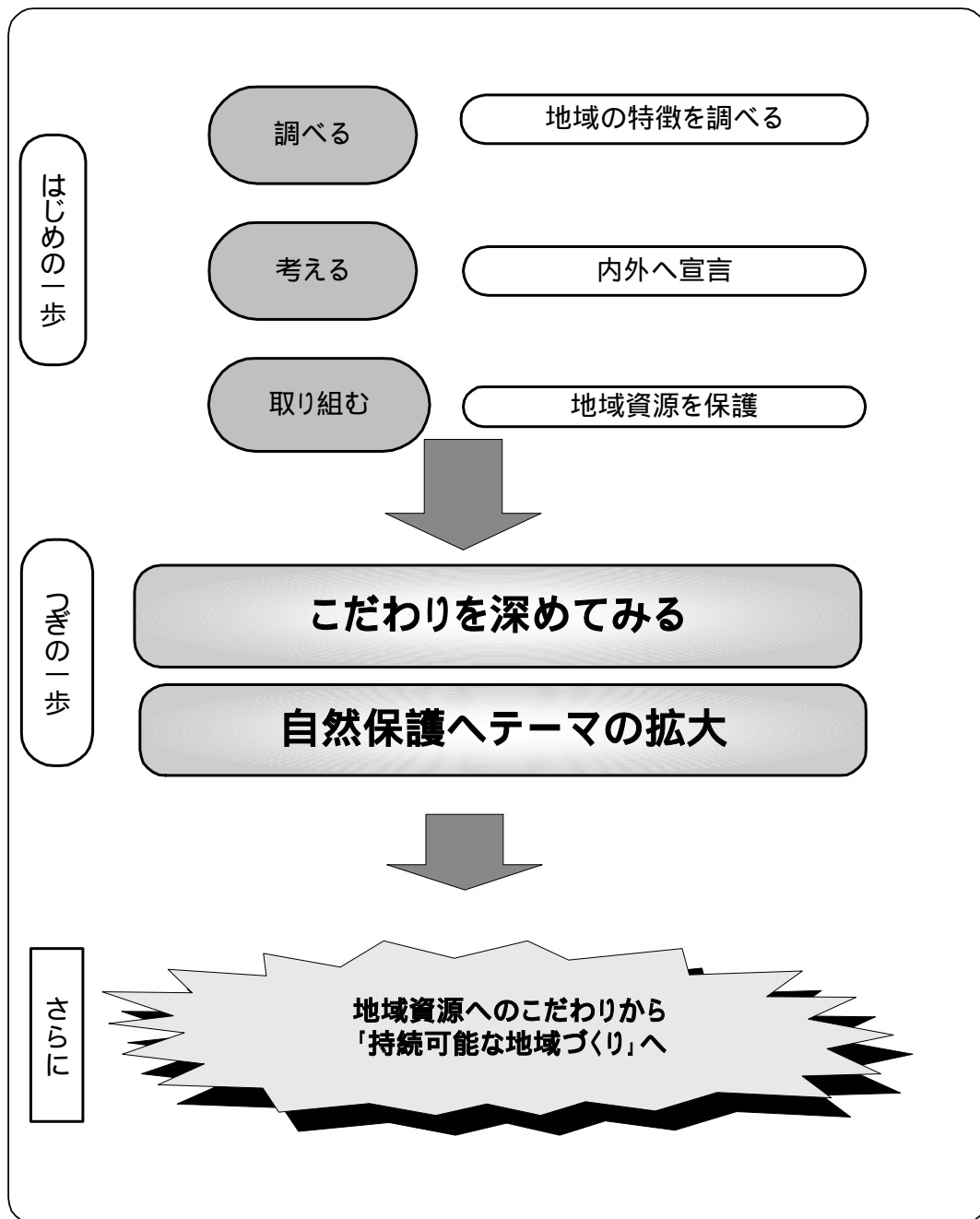
三重県では地域興しマイスターとして各分野の専門家を委嘱するとともに、地域興しを積極的に進めている市町村等へ派遣し、皆様からの様々な相談に対し助言等を行っています。

7. 生物多様性・自然に関する「持続可能な地域づくり」 自然の特徴を活かした地域づくり

あなたの地域には、自然環境がありますか。

地域の人々は気づかなくても、他に誇れる自然環境を持っていることは多くあります。ここでは、まず自分達の地域の特徴をもう一度考え、その自然環境を守りながらその特徴にこだわり、最大限に活用していく地域づくりについて考えてみましょう。





参考事例

鹿児島県加世田市（事例集 ）

「サイクルシティかせだ」を宣言し、サイクリンピックの開催や公園への自転車・歩行道の整備など市民に自転車を浸透させる活動を積極的に行っています。

岡山県美星町（事例集 ）

「美しい星空を守る美星町公害防止条例」により美しい星空を守りながら、それを地域の特徴として地域振興に活かしています。

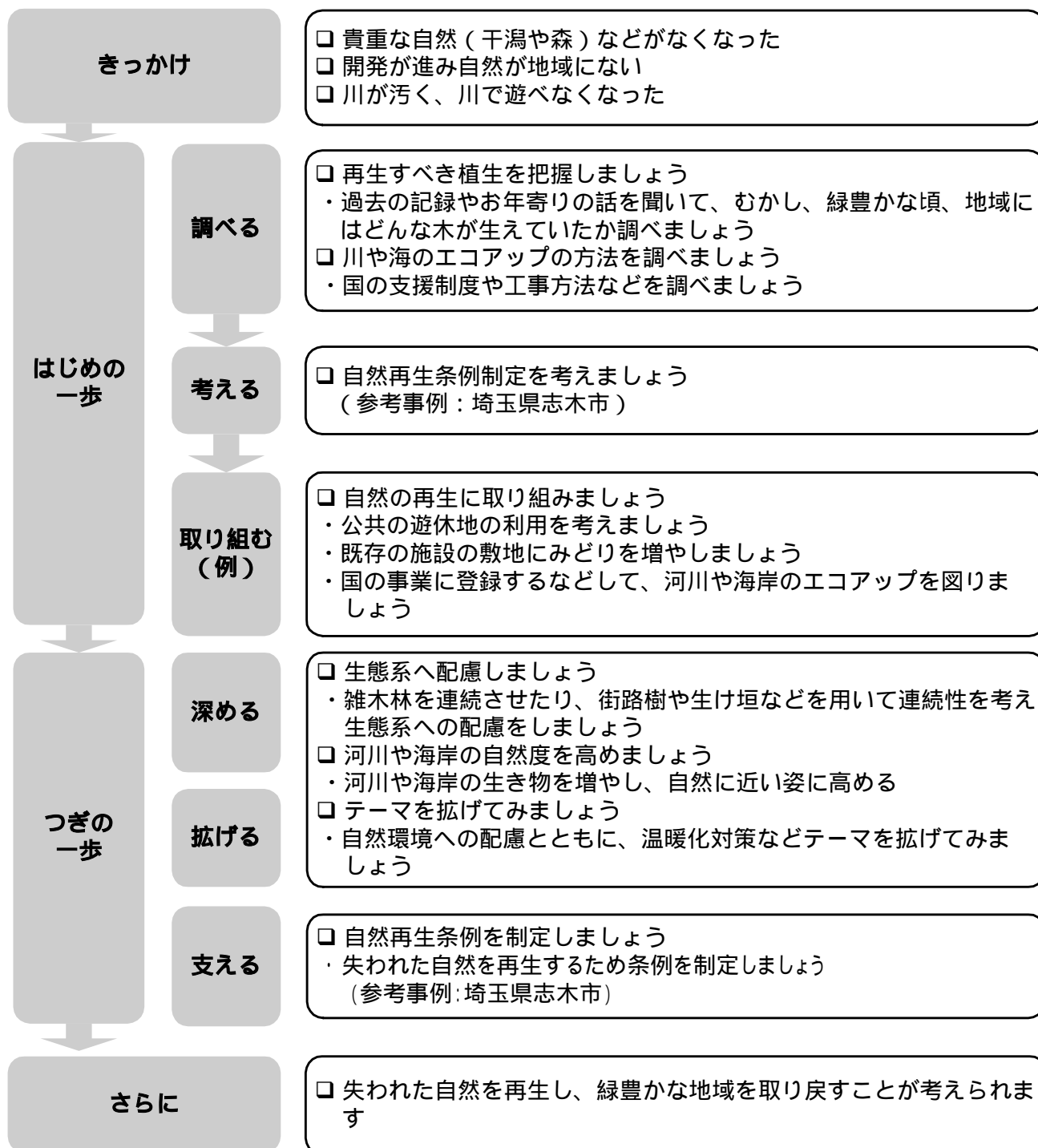
山梨県小菅村：多摩川源流研究所（<http://www.tamagawagenryu.net/>）

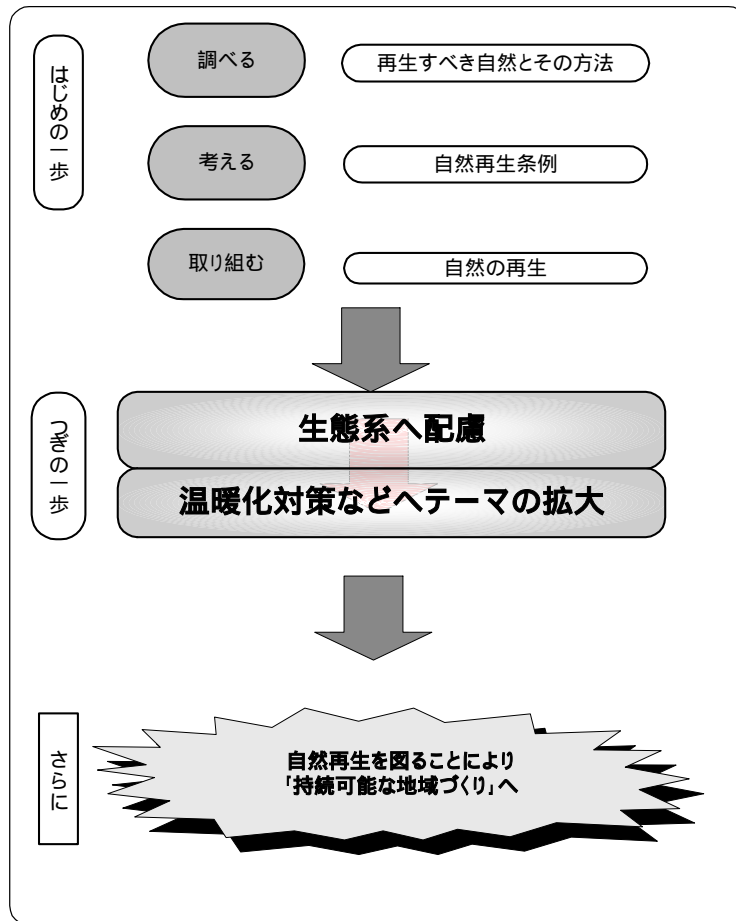
多摩川の源流部に着目し、源流を活かし源流にこだわったまちづくりを進めるため、専門家の協力のもと、多摩川源流研究所を設立しています。

7. 生物多様性・自然に関する「持続可能な地域づくり」
自然を再生・回復する地域づくり

あなたの地域では、干潟や森などの貴重な自然が失われたり、自然と触れ合う場が減少していませんか。地域の身近な自然環境は、生態系を保全するだけでなく、そこに住む人々の生活に潤いを与えてくれる貴重なものです。

ここでは、地域にどんな自然があったのかを把握することからはじめて、いろいろな主体、周りの地域とともに自然環境を再生・回復していく地域づくりについて考えてみましょう。





参考事例

埼玉県志木市（事例集 ）

埼玉県志木市では、公共事業を中心としてこれから失う緑に見合った、緑を再生する自然再生条例を制定しています。

ヌップク川（北海道帯広市）（事例集 ）

川の清掃活動をきっかけに、きれいな地域を維持していくための活動が複合化して行われています。

長野県飯田市

地域の農家を活用し、年間2万人を越える農業へのワーキングホリデーや小中学校の体験学習の場を提供。都会からの来訪者による好意的な評価に地域の女性や高齢者のネットワークづくりが促進され、地域の活性化につながります。

横浜市（http://www.city.yokohama.jp/me/green/ryokusei/ryokusei_hp_top.html）

市域全体で450haに及び市民の森を指定し、市民の憩いの場に提供。原則的に管理は地権者からなる各市民の森愛護会であるが、市は森を利用して森づくりボランティアの養成講座などを定期的に開催し、緑地維持の拠点としています。

霞ヶ浦アサザプロジェクト（http://www.mlit.go.jp/river/rfc/opinion/data6_22.html）

霞ヶ浦の自然環境は、利水治水を目的とした護岸工事と淡水化、及び開発や汚水の流入によって損なわれてきました。アサザを植栽することで霞ヶ浦の汚染を浄化するプロジェクトです。アサザの里親や植栽事業、さらに実験的に設置した粗朶沈床など連絡会議の提案で始まった取り組みが成果を上げ、プロジェクトに参加している自営業者によって「霞ヶ浦粗朶組合」が設立されることとなりました。このように、流域の森林保全、湖岸の自然回復など流域の環境産業育成までも取り込んだ活動展開となっています。さらに、プロジェクトを中心に、多くの市民参加による総合的な流域活動となっています。